

## ともに歩む株主 経営に寄り添う株主<sup>③</sup>

# 日本一投資先に身近な投資会社を目指して

私は今年3月まで2年間、中小企業庁に出向して中小企業政策に関わり、「中小企業白書」の執筆にも携わりました。2018年中小企業白書の分析によると、全国約382万社の企業のうち、その99.7%が中小企業ですが、従業員数が50人超の企業は全国に約2.5%（約9.5万社）しかありません。一方で、従業員数が50人超の中小企業は、中小企業全体が生み出す付加価値の約4割を生み出していることが示されています。

当社では、そのような一定数以上の雇用を担いながら、特に優れた技術を持っていたり、独自性のあるサービスを提供している成長志向の中小・中堅企業等に融資を通じて支援しています。

投資先企業の共通の課題は人材不足。昨今の人手不足に加え、中小企業では、日常的に発生する業務以外についてはなかなか専門人材を置くことができません。

こうした中、喜んでいただいている支援の1つが「専門家相談サービス」です。人事・労務相談や税務相談、海外進出に関する相談など相談内容は多岐にわたりますが、投資先企業のお悩みや課題を、まずは事前に当社の担当者が十分にヒアリングを行い、問題点を整理・明確化します。その後、当社が提携している弁護士や会計士・税理士、社会保険労務士、コンサルタントといった専門家に相談をすることで、問題解決がスムーズに行えるようサポートしています。最近、国が「働き方改革」を最重要課題として進める中で、人事・労務に関する相談が多いです。当社の専門家相談サービスは、一定時間まで無料でご利用いただけるものもあり、セカンドオピニオン的に利用している投資先企業もいらっしゃいます。

また、投資先企業に限らず一般的に中小企業が不得手とされているのが広報活

動です。弊社では投資先企業の「広報担当」を担うべく、情報発信のお手伝いをしています。その1つが当社の機関誌の「そだとう」です。毎号、投資先企業に取材を行い、優れた経営の取り組みや商品、サービスを紙面で紹介しています。これらを他の投資先企業の経営の参考にさせていただくのはもちろんのこと、投資先企業を、より多くの方々に知っていただくことを目標にしています。「採用活動の良いPR材料になったよ」とお声をいただくことも多いです。

新入社員の頃の上司に「私たちは日本一投資先に身近な投資会社なんだよ」と言われたことがいまでも記憶に残っています。企業経営は良いときもあれば、時には苦しいときもあると思いますが、「雨の日でも社長の差している傘を支え持てる担当者」であることを仕事のモットーにしています。



東京中小企業投資育成  
ビジネスサポート部 部長代理  
**清村和貴さん (33歳)**

- 1985年 埼玉県生まれ
- 2008年 早稲田大学商学部卒業  
東京中小企業投資育成入社 総務企画部、業務第四部(山梨・長野県担当)、中小企業庁出向
- 2018年 ビジネスサポート部に配属  
経済産業研究所コンサルティングフェロー